

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	15-2	
PDCA	主要事業名	重層的支援体制整備事業	部課名	福祉部地域福祉課	担当 内線	中川 347		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 1 単位施策： 地域福祉 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 48,686 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.01.01.04.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、「属性・世代を問わない包括的相談支援」・「社会的に孤立している方に対する社会参加支援」・「地域づくり支援」を一体的に実施し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる支え合いのまちづくりを推進する。						
		事業目的： 個人や世帯の抱える課題が複雑化・複合化する中で、問題の深刻化・長期化を防ぐこと等を目的とする。						
		事業内容： 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、包括的相談支援・社会参加支援・地域づくり支援を一体的に実施する。						
		問題点・課題等： 少子高齢化・核家族化の進行や地域のつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境の変化等に伴い個人や世帯の抱える課題が複雑化・複合化していること等。						
	予算額	主要事業とする理由						
	48,686 千円	地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費 18,629 千円 国費 22,038 千円 県費 8,019 千円	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる支え合いのまちづくりに資することができる。						
	その他 0 千円	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位
	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)相談受付件数	実績値 75	147	149	—	件		
		実績値		150	200	件		
		目標値						
		実績値						
		目標値						
D 実績値と得られた成果	決算額	得られた成果						
	48,686 千円	CSWが3名から5名に増員され、相談支援機関との連携や、8050問題・中卒無業者などの複雑化・複合化した課題を抱える方へのアウトリーチ支援や、参加支援・地域づくりに向けた支援を積極的に実施したことにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる支え合いのまちづくりに資することができた。						
		成果指標		令和5年度	単位			
		コミュニティソーシャルワーカー(CSW)相談受付件数	実績値 163	200	件	件		
C 課題の整理	事業の評価・課題	B CSWを3名から5名に増員し、相談支援機関との連携や、複雑化・複合化した課題を抱える方へのアウトリーチ支援を実施した。また、参加支援、地域づくりに向けた支援も合わせて実施した。上記により、これまで支援につながっていなかった方や縦割りの福祉制度の中で埋もれてきた方への支援が進みつつある。しかし、未だ就労などの問題、社会的孤立、困窮家庭など、支援を必要とする方は少なくないため、引き続き、関係機関との連携・協力のもと、支援を必要とする方に必要な支援を届ける包括的相談支援を推進する。また、属性や世代を問わず、複雑的・複合的課題がある世帯に対して早期発見・介入ができるようアウトリーチ等継続的支援事業の推進が必要である。						
	今後の事業の方向性	改善推進 本事業の対象となり得る方を支援するため、①属性や世代を問わない包括的相談支援、②参加支援、③地域づくりへの支援を柱とし、これら3つの支援体制をさらに強化するために、④他機関協働事業、⑤アウトリーチ等を通じた継続的支援を加えた①から⑤までの事業を一体的に実施する。						
A 課題の解決に向けた方向性	観点別評価	必要性	有効性	効率性				
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地		ない		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地		ない		
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない					

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用